

令和7年4月8日

学校名 鈴鹿市立天栄中学校

学校長名 山中 喜宏

令和7年度 校内研究実施計画書

1 研究主題及び教科

研究主題	つながりを大切にして、自ら学び続ける子どもの育成
教科・領域	全領域

2 主題設定の理由

本校は、天名地区、合川地区、栄地区、郡山地区、そして、平成28年度に通学区域弾力化が実施されたことにより加わった稲生地区の5つの小学校区からなる、生徒数450名程度の中規模校である。近隣には商業施設も無く、自然に囲まれた環境の中、生徒は落ち着いて学校生活を送ることができている。しかし、本校の生徒の様子を見ていると、「しなければならないことには取り組むことができるが、それ以上のことを求める生徒が少ない」、「思考したことを自ら進んで人に伝えることに難しさを感じる生徒が多い」といった、主体的な行動の少ない生徒、考えを伝えることに対する抵抗感のある生徒が多くいることが課題として見えてきた。その要因の1つには、人間関係の構築の苦手さが考えられる。前述の小学校区のうち、4地区の小学校で児童数が少なく、単学級となっている現状がある。小学校では人間関係の変化がなく、自分を出すことができた子どもたちも、中学校では新たな人間関係の構築にとまどい、委縮してしまうことが少なくない。クラス替えや班替え等、人間関係が変化する際に不安を訴える生徒は多い。そういった現状を踏まえ、本校ではお互いを認め合える「つながり」を育むための取組を組織的に実施すること（承認活動）、そして、自分の考えを出し合い、仲間とともに探求することができる協働課題を授業に取り入れることを3年間取り組んできた。成果としては、他者に寄り添う姿が増え、安心感のある雰囲気の中でグループでの協働的な学びができるようになってきた。課題としては、グループに頼る姿はあるが、自分で進んで考え、学び、粘り強く取り組む姿勢が弱いという点である。また、全国学力・学習状況調査によると、依然としてCD層が多く存在

し、学力差があるという課題も見えてきた。そこで今年度は研修主題を「つながりを大切にして、自ら学び続ける子どもの育成」とし、安心感、信頼感のあるつながりを大切にしながらも、自ら進んで学び、自分で未来を切り開く力を生徒が身につけること、また誰一人取り残されずに学ぶ授業を目指したい。具体的にはつながりを作る授業づくりや承認活動の実施は継続しながら、一人ひとりの個の学びに注目して、個の学びが充実する視点を取り入れて授業づくりを進めていきたい。さらに、今年度は校区でリーディングDX事業を受けるにあたり、「自ら学び続ける生徒の育成」という校区の共通の目標を立てた。それに向けて、引き続き小中連携の推進に力を注ぎたい。

3 研究内容及び方法（具体的な手立てまで詳しく書いてください）

（1）主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

具体的な取り組み

①つながりを生む協働課題を設定した授業・承認活動の実施（継続）。

②生徒が自ら進んで学ぶために、「個の学びの充実・自己選択」の視点を取り入れる。

③全教科で1人1台端末の効果的な活用を探る。

・UDの視点に立った配慮（UDフォントの使用、教室掲示の工夫）

・全教職員年間1回の公開授業実施

6、9、11月公開授業（リーディングDX事業）、公開授業授業公開ウィーク（第1回・第2回）

・校内研修における授業実践交流会、教科部会の設定

・全国学力・学習状況調査およびみえスタディ・チェックを活用した授業改善

・鈴鹿市「安心して学べる学校を目指して」アンケートの実施および分析

（2）信頼をもった「つながり」による人間関係の構築

・「つながり」を育む取組の組織的な実践

仲間づくりの取組（ふれんどカード）

生徒間での承認活動の導入（天栄アプリシエイターズ、「クラスの中の自分」）

つづり作文の実施、レジリエンス（非認知能力）を育む授業（全5回）

・学級経営、生徒支援、生徒指導の視点での校内研修の実施

・具体的な目指す「つながり」の提示

（3）生徒が主体的に参加できる学校活動づくり

・生徒会活動における生徒の主体的な活動の推進

・室長会を中心とした生徒の主体的な活動の推進

（4）生徒の心を支える体制づくり

・各学期における教育相談の実施

・ いじめアンケートの実施・対応 ・ あい教室の運営 ・ スクールカウンセラーおよび関係機関との連携
(5) 幼小中連携による学びのつながり ・ 「家庭学習のてびき」の活用 ・ 校区夏季学習会および校区教職員連携会議（育ちの部会・学びの部会）の開催 ・ 新入生への春休みの宿題の取組（学びよつながれ！プロジェクト）

4 年間研修計画

	主 な 取 り 組 み
4 月	・ 研修概要説明（研修主題、研修方針の説明・自分化シートで個人目標設定）（3 日） ・ 保健対応生徒研修会（3 日） ・ 「つながり」を育む取組「ふれんどカード」実施 ・ シラバス・家庭学習のてびき・天中目指すつながりの共有（各教科、各学年説明） ・ 全国学力・学習状況調査の実施（国語・数学・英語・理科）
5 月	・ みえスタディ・チェックの実施（1、2 年生） ・ 第 2 回校内研修会（1 人 1 台端末の活用の実践交流） ・ 人権研修（レポートの書き方、視点生徒の設定）（講師：平田先生） ・ 学校教育目標、年間指導計画提出
6 月	・ みえスタディ・チェックの分析と対策 ・ 体育祭を通しての承認活動の実施 ・ 第 1 回授業公開ウィーク実施（10～14 日） ・ 第 3 回校内研修（30 日） →公開授業リーディングDX事業（3 名公開（校区のみ）） 講師：谷内教授（信州大学）
7 月	・ 第 4 回校内研修会（1 学期の自分化シート振り返り）（2 日） ・ 人権研修（実践から学ぶ） ・ 第 1 回学校アンケート実施（生徒・教師） ・ 承認活動「天栄アプリシエイターズ」の取組実施
8 月	・ 中学校区研修会（育ちの部会・学びの部会）の開催 ・ 全国学力・学習状況調査の分析・考察 ・ 第 5 回校内研修会（授業実践交流会）（21 日）

9 月	・「つながり」を育む取組「ふれんどカード」実施（夏休み明けバージョン） ・郡山小学校公開授業参加（リーディングDX事業）（16 日） ・第 6 回校内研修会（30 日） →公開授業リーディングDX事業（3 名公開（市内・校区）） - 講師：谷内教授（信州大学）
10 月	・第 7 回校内研修（学級経営、生徒支援、生徒指導の視点）（1 日） ・第 1 回学校アンケート実施（保護者） ・文化祭を通しての承認活動の実施
11 月	・第 8 回校内研修会（18 日） →公開授業リーディングDX事業（4 名公開（市内・校区）） - 講師：谷内教授（信州大学） ・研修課題に関わる先進校の視察
12 月	・2 学期の自分化シート振り返り→3 学期の目標設定（職員会議） ・第 2 回学校アンケート実施（生徒・教師） ・天栄アプリシエイターズ実施
1 月	・第 9 回校内研修会（研修年間振り返り（生徒の様子から成果と課題検討）） ・人権研修（各学年レポート交流） ・学校評価・関係者評価のまとめ、学校運営協議会での報告 ・第 2 回みえスタディ・チェックの実施 ・第 2 回授業公開ウィークの実施
2 月	・郡山小学校公開授業参加（リーディングDX事業）（13 日） ・来年度の研修について検討・協議 ・承認活動「天栄アプリシエイターズ」の取組実施 ・小中連携「学びよつながれ！プロジェクト」の実施 ・みえスタディ・チェックの分析と対策
3 月	・承認活動「クラスの中の自分」の取組実施 ・シラバス、年間指導計画の見直し ・第 10 回校内研修会（今年度のまとめ、来年度の研修について、自分化シートの振り返り）（12 日）